



法人広報紙

かがやく瞳

じょうぶな体の子ども
ゆたかな心の子ども
のびのび遊ぶ子ども

No. 15

発行日 令和3年10月8日
発行責任者 豊福猛
編集 社会福祉法人
北見福祉会広報委員会
〒090-0835 北見市光西町178-5
TEL 0157-57-5057
FAX 0157-57-4767

このシンボルマークには移動する太陽と市の街路樹として親しまれているナナカマドの実と葉が描かれています。

左から右への円形東から昇った太陽が南で輝き、西に移りながら優しい色に染まり、やがて真紅の夕日になって一日が終わる情景をナナカマドの実で表しています。

太陽のように規則正しい生活を送る中で、家庭との連携により、心身ともに健康な子どもを育てることが北見福祉会の理念です。

濃淡の緑はナナカマドの葉で地域を表し、開かれた北見福祉会を創造し、地域に支えられ、地域との協働により次代を担う子どもの育成への志向を図案化したものです。

今年、北見福祉会は創立40周年を迎えました

当法人は、昭和56年3月30日付で「社会福祉法人北見福祉会」として設立し、同年4月に夕陽ヶ丘保育園、平成20年4月に光西保育園、平成25年4月に南保育園をそれぞれ開設し、各地域における福祉の充実・発展に貢献してきているところです。

また、平成27年4月から、教育・保育制度の抜本的な改革である「子ども・子育て支援新制度」がスタートしたことを受けて、当法人運営の3保育園においても、平成28年4月より「幼保連携型認定こども園」に移行し、時代の変化に対応した「より質の高い教育・保育」を提供することとしたところです。

近年、社会福祉法人に対する高い公益性が求められるようになってきている中で、当法人においても、より高い福祉サービスを提供できるように各施設（こども園）が一体となって取り組むとともに、法人・施設の持続的で安定した経営に努めてまいります。

北見福祉会役員紹介（6/25改選）

理事長	豊福猛	評議員	森田陽子
副理事長	岡田勝行	評議員	中川勝彦
副理事長	大江學	評議員	竹村直子
理事	高橋敏男	評議員	藤田美知子
業務執行理事 （事務局長兼務）	鹿又勝次（夕陽ヶ丘園長）	評議員	高橋道子
理事	田巻司史（光西園長）	評議員	山尾幸正
理事	杉浦潤（みなみ園長）	評議員	菊野淳一
監事	早坂博民	評議員	重井睦
監事	森谷安夫	第三者委員	澤野玲子
		第三者委員	所とみ彥



☆保育士資格、幼稚園教諭免許、支援員資格などをお持ちの方へ☆
北見福祉会は、いつでも働く意欲のある方を待っています。勤務日数・時間帯なども気軽にご相談ください。詳しくはHPの求人情報をご覧ください。<http://www.kitami-fukushikai.com/>



子どもの育ちは一人一人違うものです。よそのお子さんと比べて不安になってしまったり、いろいろと悩んで暗い気持ちになってしまったりと、子育ての悩みはつきないでしょう。そんな時は「違ってあたりまえ」と、ゆったりした気持ちで向き合ってみると、子どもの可愛さに改めて気づくことができるかもしれません。「育ちのめやす」は参考資料です。心配なことがございましたらこども園の先生に気軽にお声がけください。



乳幼児期の子どもの発達で大切なことは
 ◎愛着の形成
 ◎基本的な生活習慣の形成
 ◎道徳性や社会性の芽生えとなる遊びなどを通じた子ども同士の体験活動の充実

おおむね 6か月未満
 気持ちいいな～

- ・心地よい時は微笑んだりし、不快な時は泣いたりして自分の欲求を伝えようとする。
- ・身近な大人との愛着関係や信頼関係をづくり安心感や満足感を抱く。

おおむね 6か月～ 1歳3か月
 うれしいな！ たのしいな！

- ・まわりを意識し、興味をもちはじめ喜怒哀楽などが芽生えてくる。
- ・指さしや片言で思いを伝えようとする。

0歳	乳児期	信頼感が育っていく 生まれたばかりの赤ちゃんは周囲に頼らなければ生きていくことができません。周囲の人に自分の欲求を泣いて伝えることで自分をアピールし、助けてもらい、たくさんの愛情を受けることで信頼感を高めることができます。 【泣いても助けてもらえない状況が続くと、不信感が育ち、今後に悪影響が出ます】
1歳		
2歳	幼児前期	自律性が育まれていく 言葉を話したり歩いたりするようになります。これまで親や周囲にしてもらった着替えや排せつ、食事などが自分でできるようになり自律性が養われます。 【この時期に子どもに何もさせず、周囲がすべてしてしまうと自律性は育ちません。また、失敗を必要以上に叱ると子どもが萎縮してしまうことがあります】
3歳		
4歳	幼児後期	自発性が生まれる こども園など、親の元以外で過ごす時間が長くなり、自分から遊ぶものを見つけたり、友だちに話しかけたりするようになります。自発的な行動が見られるようになったら、間違えた方向に自発性を発揮しないように見守りつつ、しっかりと子どもに反応してあげます。 【子どもの自発性を無視して適当にあしらっていると、子どもは罪悪感を抱きやすくなります】
5歳		

おおむね 1歳3か月～ 2歳未満
 なんだろうな！

- ・身近な人や物に自発的に関わろうとする。
- ・思いを指さしや身振りや簡単な言葉などで伝えようとする。

おおむね 2歳
 自分で！ 自分で！

- ・自分でやってみようという意欲が育ち、大人に支えてもらいながら挑戦しようとする。
- ・したいことやしてほしいことを簡単な言葉やしくさで伝えようとする。

おおむね 3歳
 なぜ？ どうして？

- ・「なぜ？」「どうするの？」など大人にたずね、理解したい気持ちが高まっていく。
- ・友達との関りを通して、自分の思いを伝えながら一緒に楽しく遊べるようになる。

おおむね 4歳
 友だち大好き！

- ・仲間意識が芽生え友だちと誘い合っ遊ぶ。
- ・思ったことや感じたことを伝え合う楽しさや喜びを感じる。

おおむね 5歳 みんなでやるのは楽しい！

- ・友達と遊んだり活動したりすることで協調性やゆずり合いの気持ちを持つ。
- ・思ったこと、感じたこと、経験したことを言葉で表現し、思いを伝えるだけでなく相手の話を聞き、互いに認め合い、心が通じ合う喜びや楽しさを感じる。

※育ちには個人差があります。ここに示した内容は、あくまでも例示であり、各年齢の到達点を示すものではありません※

【参考：エリクソン「心理社会的発達理解」、大阪府門真市教育保育資料、他】